

受講生募集！

平成24年度 全学教育科目 フィールド科学研究入門

夏の北海道プログラム（2単位）

景観を読み取る体験・夏の北海道の森林と人の暮らし

9月10日（月）～15日（土）＜5泊6日＞



- 対象：全学部1・2年次学生
- 会場：九州大学北海道演習林（北海道足寄郡足寄町）
- 定員：20名（多数の場合抽選）
- 申込先：全学教育教務係（募集〆切：6月27日（水））
※他のプログラムと〆切日が異なります。
- 備考：履修できるのは、いずれか1つのプログラムのみ

5月30日（水）18:30～センターゾーン2号館4階（2403教室）にて
『フィールド科学研究入門』のガイダンスを行います。

問い合わせ先：九州大学農学部附属演習林 調査室

Tel：092-948-3104 Fax：092-948-3119 E-mail：chosa@forest.kyushu-u.ac.jp
<http://www.forest.kyushu-u.ac.jp>

北海道演習林（足寄）

Tel：0156-25-2608 Fax：0156-25-3050 E-mail：ashoro@forest.kyushu-u.ac.jp
<http://www.forest.kyushu-u.ac.jp/hokkaido/index.php>

夏の北海道プログラム

北海道・足寄は林業と畑作・放牧酪農が盛んな有数のバイオマス生産地域です。夏の北海道プログラムでは、明治以降に開拓され、土地利用の歴史が浅い北海道演習林とその周辺地域で、土地利用に伴う景観形成のプロセスを科学的に探る方法を学びます。広大なフィールドで北海道の夏を体験することで、漠然と眺めていた景観には多くの情報が含まれていることに気づくでしょう。

スケジュール (天候等の自然条件によっては内容を変更する場合があります)

9月10日 (月) JR帯広駅集合→北海道演習林 (バス送迎)

※現地集合も可
到着後オリエンテーションと歓迎会

9月11日 (火) 足寄川流域の植生と景観

阿寒国立公園から足寄町市街地まで流れる足寄川流域を移動しながら、植生図や地形図などの資料を参考に、景観の変化を大まかに把握します。

- 流域における植生の変化パターンの認識(野外実習)
- 植生の変化と環境との関係の検討(演習)
- 足寄川流域の原植生の推定(演習)

9月12日 (水) 森林についての基礎講座

北海道演習林内の天然林や人工林内に実際に入り調査し、景観を形成する森林・樹木についてより詳しく学びます。

- 天然林と人工林、針葉樹と広葉樹の違い(講義)
- 森林調査による森林構造の把握(野外実習)
- 天然林と人工林の景観における違い(野外実習)

9月13日 (木) 足寄川流域の地形と土地利用

足寄川流域の上流から下流にかけての土地利用の変化を調査し、それぞれの場における土地利用と地形との関係を考えます。

- 土地利用の類型化(講義)
- 上流から下流にかけての土地利用と地形の把握(野外実習)
- 土地利用と地形との関係の検討(演習)

9月14日 (金) 景観とは何かー植生、環境、土地利用の相互作用ー

森林植生や土地利用についての調査と解析結果をもとに、再度、本流域を移動しながら景観形成について考えます。さらに高山帯にも足を運び、植生の変化や地形を観察します。

- 足寄川の再踏査(野外実習)
- 亜高山帯～高山帯への植生・地形の変化の観察(野外実習)
- まとめ:景観とは何かを考える

9月15日 (土) 北海道演習林→JR帯広駅 解散

※現地解散も可